



★ 2011年度理事会・総会開催 ★

新会長に中島氏、越宗氏は名誉会長に

2011年度の理事会・総会が6月20日、岡山市北区のホテルグランヴィア岡山で開かれ、任期満了に伴う役員改選の結果、会長の越宗孝昌氏（岡山経済同友会顧問、山陽新聞社長）の後任に中島基善氏（岡山経済同友会代表幹事、ナカシマホールディングス社長）が選ばれ、越宗氏は名誉会長に就任しました。

理事会で任期満了に伴う役員改選を行い新会長を選任、続いて開かれた総会には会員約50人が参加。「EU講座」の充実、EUフィルムデーズ第2回開催の準備、ホームページの充実などに取り組むことを決めました。記念講演では駐日欧州連合代表部のリチャード・ケルナー（広報部学術協力担当）氏が「ヨーロッパから見た日本、そして岡山」と題して講演、市民レベルで国際交流を進めることがいかに双方の視野を広げるのに大切であるかを説明、この後、懇親会を開き楽しいひと時を過ごしました。

（関連記事2～5ページ参照）

〔第1号議案〕

2010年度 事業報告

1. 「EU講座」を開設・充実について

EU諸国の経済や文化を学び合うため「EU講座」を開設した。第1回は4月、会員の次田泰裕愛媛大学客員教授が「EUにおけるレアメタルのリサイクル」と題して講演。第2回は5月、会員の古市大藏理事・トミヤコーポレーション会長が「北欧経済事情について」、第3回は9月、創立80周年を迎える大原美術館の大原謙一郎理事長が「文化の力と大原美術館の経営理念」について、第4回は12月、岡山出身のオペラ歌手柊木和敬さんを招いてトーク・コンサートを開いた。

2. オランダフェスタを共催

4月17、18日、岡山市中心部の表街商店街を舞台に開かれたオランダフェスティバル(主催者・同運営委員会)を共催した。当会にとって初めての共済事業。

3. 2010年EU協会全国総会に参加

5月10日、EU協会全国総会が東京都千代田区のヨーロッパハウスで開かれ、岡山からは古市理事と金森事務局長が初参加。最近の会活動の報告、意見交換を行った。

4. 駐日欧州連合代表部が行う「EUがあなたの学校にやってくる」の受入・準備

5月11、12日、岡山県立岡山南高校に同代表部のヘイス・ベレンツ等書記官がやってきて生徒たちにEUの歴史、活動状況などについて、楽しく授業した。岡山県立西大寺高校に大阪・神戸ドイツ総領事のアレクサンダー・オルブリッヒ総領事、岡山高等学校にイタリア大使館セルジョ・モンティ等書記官も来校し出張授業を行った。前年の2校から3校に増えた。

5. 岡山EU協会のホームページ立ち上げ

5月末、岡山県立大学情報工学部、デザイン学部の教授、学生たちの協力を得て行いました。両学部が岡山経済同友会のホームページ作成に協力してくれたので、併せて岡山EU協会のホームページ作成についてもお願いしました。

6. その他友好促進の事業

日本とEUの市民交流の促進を目的にした「EUフレンドシップウィーク」の一環で2003年から映画「EUフィルムデーズ」が始まっている。2月、東京、京都、広島、山口、香川、岡山開催が決まり、6月開催に向け準備を進めた。

〔第2号議案〕

2010年度 決算報告

(2010年4月1日～2011年3月31日)

収支決算

収入総額	¥2,630,218
支出総額	¥2,630,218
差引残高	¥0

収入の部

科 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
法人会費収入	¥1,300,000	¥1,240,000	¥-60,000	@20,000×62
個人会費収入	¥225,000	¥210,000	¥-15,000	@5,000×42(4名分未収)
総 会 会 費	¥280,000	¥238,000	¥-42,000	6/8総会参加会費 @7,000×34
講 座 会 費	¥600,000	¥630,500	¥30,500	EU講座参加会費 第1回～第4回
その他雑収入	¥100	¥105	¥5	普通預金利息収入
前年度繰越金	¥311,613	¥311,613	¥0	
合 計	¥2,405,100	¥2,630,218	¥225,118	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
総 会 費	¥800,000	¥556,751	¥-243,249	6/8全日空ホテル
事 業 費	¥1,000,000	¥1,119,626	¥119,626	EU講座費用 4/10第1回 231,217円 5/8第2回 182,181円 9/11第3回 307,250円 12/18第4回 398,978円
広 報 費	¥350,000	¥447,819	¥97,819	会報(EU letter)1、2号発行 241,099円、 ホームページ立ち上げ、維持費用 206,720円
事 務 諸 費	¥150,000	¥138,590	¥-11,410	通信費 49,060円 出張旅費 50,600円 その他雑費 38,930円
予 備 費	¥105,100	¥0	¥-105,100	
次年度繰越		¥367,432		2011年度に繰越
合 計	¥2,405,100	¥2,630,218	¥225,118	

会 計 監 査 報 告

2011年6月13日、2010年度の会計について監査を執行し、収入・支出ともに正確に記帳整理されており、帳簿・証拠書類の保管は完全であることを認める。

2011年6月13日

監事 西本和馬 印
監事 岡崎 彬 印

〔第3号議案〕 役員選任の件

名誉会長	岡山経済同友会顧問	越宗 孝昌（新任）
会 長	岡山経済同友会代表幹事	中島 基善（新任）
副 会 長	駐日欧州連合代表部広報部長	ルディ・フィロン（再任）
副 会 長	岡山大学学長	森田 潔（交代）
副 会 長	岡山県国際経済交流協会会長	永島 旭（再任）
副 会 長	岡山県経営者協会会長・岡山県国際交流協会会長	末長 範彦（再任）
顧 問	岡山県知事	石井 正弘（再任）
顧 問	駐日欧州連合代表部大使	ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート（交代）
理 事	岡山県経済団体連絡協議会座長	中島 博（再任）
理 事	岡山経済同友会代表幹事	泉 史博（交代）
理 事	岡山経済同友会アドバイザー	古市 大藏（再任）
理 事	岡山県中小企業団体中央会会長	武田 修一（交代）
理 事	大学コンソーシアム岡山会長	井尻 昭夫（再任）
理 事	岡山県文化連盟会長	大原謙一郎（再任）
理 事	福武教育文化振興財団理事長	福武總一郎（再任）
理 事	岡山市長	高谷 茂男（再任）
理 事	倉敷市長	伊東 香織（再任）
理 事	山陽新聞社社長	越宗 孝昌（再任）
理 事	岡山日日新聞新社社長	原田 克也（再任）
理 事	山陽放送社長	藤原 隆昭（再任）
理 事	岡山放送社長	宮内 正喜（再任）
理 事	テレビせとうち社長	大田 弘之（再任）
監 事	岡山県商工会議所連合会会長	岡崎 彬（再任）
監 事	岡山県商工会連合会会長	西本 和馬（再任）

〔第4号議案〕 岡山E U協会会則の一部改正（下線部分）

「第6条（役員） 本会に次の役員を置く。

- （1）会長 1名 （2）副会長 若干名 （3）理事 若干名
（4）監事 若干名 （5）顧 問 若干名 （6）名誉会長 若干名

2 役員は、本協会設立時は発起人会の指名により選任する。その後は顧問、理事および監事は総会において会員の互選により、名誉会長、会長および副会長は理事会において互選する」

〔第5号議案〕 2011年度 事業計画

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1、「EU講座」の充実
欧州の文化・経済事情について勉強会の開催を継続 | 4、会報「EU Letter」の継続発行 |
| 2、EUフィルムデーズの第2回開催に向けて準備 | 5、駐日欧州連合が行う「EUが学校にやってくる」の受け入れ支援 |
| 3、岡山EU協会のホームページの充実 | 6、EUとの友好促進事業の実施・共催 |

〔第6号議案〕 2011年度 収支予算書

（2011年4月1日～2012年3月31日）

収入の部					支出の部				
科 目	2010実績	2011予算	差引額	摘 要	科 目	2010実績	2011予算	差引額	摘 要
法人会費収入	¥1,240,000	¥1,300,000	¥60,000	@20,000×65	総 会 費	¥556,751	¥600,000	¥43,249	総会費用
個人会費収入	¥210,000	¥225,000	¥15,000	@5,000×45	事 業 費	¥1,119,626	¥1,600,000	¥480,374	EU講座費用、EUフィルムデーズ費用
総 会 会 費	¥238,000	¥280,000	¥42,000	総会参加会費	広 報 費	¥447,819	¥500,000	¥52,181	会報、ホームページ費用
講 座 会 費	¥630,500	¥650,000	¥19,500	EU講座会費など	事 務 諸 費	¥138,590	¥200,000	¥61,410	通信費、消耗品費、出張旅費、その他雑費
事 業 収 入		¥320,000	¥320,000	EUフィルムデーズチケット代	予 備 費	¥0	¥242,532	¥242,532	
その他雑収入	¥105	¥100	¥-5	預金利息	次 年 度 繰 越	¥367,432			
前年度繰越金	¥311,613	¥367,432	¥55,819		合 計	¥2,630,218	¥3,142,532	¥512,314	
合 計	¥2,630,218	¥3,142,532	¥512,314						

講演要約

ヨーロッパから見た日本、そして岡山

(6月20日 岡山EU協会2011年度理事会・総会 記念講演 於 ホテルグランヴィア岡山)

講師 駐日欧州連合代表部 リチャード・ケルナー 広報部学術協力担当

リチャード・ケルナー氏の紹介



リチャード・ケルナーさまは、1980年3月14日のお生まれで、現在31歳。英国のご出身です。シティー・オブ・ロンドン中高等学校(91年—98年)からエディンバラ大学文学部で日本語を専攻され(98年—02年)、2000年から1年間、立命館大学にて交換留学をなさっています。

02年8月～05年8月 岡山県企画振興部国際課で国際交流員(JETプログラム)をお務めになっておられます。05年9月から07年4月まで、ロンドンにある総務省の出先機関の自治体国際化協会ロンドン事務所(Japan Local Government Centre, London Office)で広報を担当されています。また、スコットランドのアバディーン大学では留学生支援事務所でインターナショナル・オフィサーとして、さらに日本では

財団法人大阪府国際交流財団で、国際交流員を務め今年2月から駐日欧州連合代表部で学術協力担当にに移り、現在に至ります。

岡山にゆかりのあるケルナーさまの若い目で見た日本そして岡山、大震災以降の日本をどうぞご覧になっているのかをお聞きできると思います。ケルナーさま、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに

本日は、私が日本国内や岡山で学んだことに加え、ロンドンと大阪、東京での経験を踏まえ、特に市民交流の視点での、国際交流について、一人のヨーロッパ人として、個人の立場からお話をしたいと思います。岡山では、3年間、国際交流員をつとめ、岡山は大好きで、私にとって、第2の故郷です。岡山は、岡山、倉敷、津山、備前市など観光地や自然に恵まれている印象です。

ロンドン生まれ、ロンドン育ち

私は、ロンドン生まれのロンドン育ちです。ハリー・ポッターのダニエル・レドクリフの出身校シティー・オブ・ロンドン中高等学校に通いました。大学時代には、3年から4年にかけて、交換留学生として、京都で過ごしました。京都の紅葉が大好きなのですが、8月の暑さには閉口しています。

なぜ、日本語を？！

通っている高校で日本語を学ぶ機会に恵まれ、14歳から日本語を勉強しました。なぜ、日本語を学んだのかをよく、尋ねられます。子どものころ、近所に住んでいた日本人の家族の子どもたちと親しかったこともありますが、これは、ずばり、人と同じことをしたくないからです。「リチャードすごいね」と言われることが喜びでした。

今では、自販機がなく、タクシーが自動ドアでなく、お客さまサービスが日本ほどよくないうえ、電車が時間通り来ない英国のほうに違和感を覚えるようになりました。

日本と英国の懸け橋に

岡山で国際交流を担当したことが、私のキャリアの原点です。

翻訳や通訳、在住外国人への情報提供、国際理解教育事業、姉妹都市交流のサポート、海外留学イベントでの発表、英語・

日本語での広報などを通して、民間国際交流の大切さを学びました。

ロンドンに戻ってからは、日英交流セミナーやJETプログラムのPR、海外自治体幹部交流協力セミナーなどに関わりしました。大阪では、キャリアセミナーなど留学生支援や国際理解教育事業、ワン・ワールド・フェスティバルに力を注ぎました。ただし、通訳は今でも難しいと感じています。

こうした活動を通して、日本と英国の懸け橋になりたいと願っています。

市民レベルの国際交流

英国には、紳士ばかりがいて、紅茶を飲んでいると皆さんは思われているでしょう。前者は間違いで、後者は当たっています。英国についてもっと知っていただかなくてはなりませんね。意味のある深い交流を重ね、世界の文化を身近に感じることで、視野が広がります。それも、若い時に経験することが大事です。特に、日本人の若者が内向きになっている今こそ、市民国際交流の役割が重要です。海外留学や職業選択にもいきてきます。

国際交流は、市民レベルの交流が中心になることが大切です。一方で、結果や成果の評価が難しく、あいまいさが残ります。

EUのPeople to people exchanges

EUはこれまでも、People to people exchanges(市民交流)に力を入れてきました。05年は、「日・EU市民交流年」でした。欧州委員会とEU加盟国、日本政府が力を合わせ、学術機関や文化団体、市民団体、地方自治体、企業、スポーツ団体などをはじめ、個人の参加を呼びかけ、2000近くのイベントが開催されました。

今年5月11～12日には、大使15人を含む総勢66人の外交官が、日本全国36都道府県111校の高校を訪問し、EUや自身の出身国について講義を行いました。

日・EU フレンドシップウィーク

01年に始まりました「日・EU フレンドシップウィーク」は、毎年5月9日の「ヨーロッパ・デー」を中心に開催されています。文化、社会、学術、スポーツなどのさまざまな催しを通して、日本の皆さまに欧州連合（EU）をよりよく知っていただくことを目的としています。

第9回EU フィルムフェスティバルでは、東京のほかに、岡山、京都、広島、山口、高松でも開催しました。この他、EU情報センターのEU資料展等、日・EU フレンドシップゴルフ大会も開催されています。

EU情報センターでは、セミナー、絵本の読み聞かせを実施しています。好評だったEU言語での読み聞かせも、今後も継続していきます。

学術協力も活発に

大学院レベルのEUへの留学やEUの大学との交流として、エラスムス・ムンドゥスのコースを活用していただけます。EUの複数大学がコンソーシアムをつくって、運営しています。岡山大学も加盟いただいておりますので、岡山の皆さまにもしっかりとお伝えしていきたいと思っております。

EU インスティテュート・イン・ジャパンでは、欧州の政治、法律、経済のみならず、環境や医学を含む他の科学技術関連分野においても、日欧の学術協力および教育交流を促進するための活動を推進しています。EUIJ関西、EU スタディーズ・インスティテュート、EUIJ早稲田、EUIJ九州などが組織されています。

若者向けのホームページ「EU サークル.jp」<http://eucircle.exblog.jp/>には、比較・文化自慢、オフ会 若者の交流、ヨーロッパハウスでのPartyなどの情報を掲載しています。日本語と英語、ハンガリー語などEUの母国語でも書いてあります。

終わりに

市民レベルの交流を続ける大切さを実感しています。特に、地方において、一般市民やボランティアなどが大事な役割を果たすと認識しています。これは、外交官らが行う公式な交流に勝るとも劣らない大切なものです。

国際交流の必要性や直接的な効果を具体的な数値で示すことは難しいのですが、5年後、10年後に、両国の懸け橋となる「可能性」こそ、大切だと思っています。

この地岡山でスタートした私のキャリアの意義を自負していますし、両国の懸け橋として、相互理解へ、力を注ぎたいと思います。

【質疑応答】

会場から 日本の20歳前後の若者が留学を望まず、内向きだと言われるのはなぜだと見えていますか。

ケルナー氏 豊かな今の日本では、国内だけで困らないため、チャレンジする気が起きないのではないのでしょうか。アジアの国々に比べ、日本の若者は気合いが感じられないのは残念なことです。

会場から 日本の大学生の印象は？

ケルナー氏 日本は、英国と違って、新卒の入社時期が固定されているため、2、3年生は就職活動のみにしか関心がない印象です。これでは、就職が心配で、留学などをすることは難しいのではないのでしょうか。こうした状況を変えるためにも、大学や企業は、留学経験を正に評価する必要があるでしょう。

会場から では、英国の若者の就職事情は？

ケルナー氏 英国は、英語圏でもあり、EU諸国に比べると、語学留学への積極性は見られませんが、就職難でもあるため、海外で外国語教師になる人も増えています。

会場から 日本に興味のある英国人が案外多く、日本の大学の情報提供は効果があるのでしょうか？ U.K.（英国）、Great Britain（大ブリテン島）、the British（英国国民）など英国や英国人の皆さんを総称するときに、気をつけることを教えてください。

ケルナー氏 神戸大学がブリュッセルに海外事務所を設けるなど、EU諸国にオフィスを設ける日本の大学は多くあります。また、われわれEU諸国の大学も海外拠点を設けるなど、国際化が進展しています。岡山の大学の皆さまも、情報提供の拠点を希望されるようでしたら、われわれが、お手伝いできることはあると思います。

英国を差すときは、U.K.（ユナイテッド・キングダム：United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland）を使うといいと思います。ロンドン出身の私は、I'm British.（私はイギリス人です。）と言いますが、スコットランド出身の人はI'm Scottish. と言うでしょうし、ゲール語が残るなどウェールズ Wales出身の方は、I'm Welsh であって、British に抵抗があるでしょう。

会場から 通訳で苦勞することはどんなことですか？

ケルナー氏 日本語の冗談を通訳することが難しく、苦肉の策で、「笑うところですよ」と促したこともあります。菅総理の「一定の目途」などのあいまいな表現にも、通訳では悩まされます。

会場から 岡山の観光地で魅力のあるところがありますか。また、大震災後帰国された外国人の方は多いが、今後の見通しはどうでしょうか。

ケルナー氏 広島や九州、京阪神を巡る外国人が多いので、交通の便のいい岡山に1泊すると便利です。コンパクトでちょうどいい規模の岡山は、周遊もし易く、見るべきところも多いと思いますし、自転車を使って観光するのもいい。実際訪れた英国人も同意見でした。特にEUでは今、温泉が人気です。美作三湯などの温泉地を売り込むこともできます。

震災後、外国人の帰国が相次ぎました。英国メディアは当初、大げさに表現しましたが、今は落ち着いています。9月からは日本への留学生は減少しますが、一時的なものだと見えています。

イ ベ ン ト カ レ ン ダ ー

岡山経済同友会と合同講演会

岡山E U協会は2010年10月19日（火）、岡山市内で岡山経済同友会との初の合同講演会を開きました。元ユーログループ議長特別顧問のギュンター・グロッシェ氏が

「ユーロと欧州統一その過去、現在、未来」と題して講演しました。昨年12月に岡山経済同友会が中心になって岡山E U協회를発足させたことで可能になった講演会です。この日、両会員90人を前に、グロッシェ氏はギリシャの財政危機がユーロ圏のアイルランド、ポルトガル、スペインに波及したことに触れ「問題は数カ国の過剰債務にあった。ユーロ危機の認識は当てはまらない」とし、欧州単一通貨ユーロの特徴について「建物に例えれば設計は極めて頑丈だ。ギリシャなどへの金融支援の枠組み作りにも素早く対応した」などと語りました。



第4回EU講座

2010年12月18日（土）、岡山市内のホテルで、ゲストに岡山出身のオペラ歌手柁木和敬さんを招いてトーク・コンサートを開き、声量豊かなテノールの歌声と歌手生活や舞台の裏話などを楽しく聞きました。柁木さんは玉野光南高校、国立音楽大学からイタリアへ。現在、ミラノを中心に活躍しており、この日は会員25人を前に、カンツォーネ「サンタルチア」「帰れソレント」、歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」などを披露。曲の解説とともに「テノール歌手は身長と体重のどちらが大切か」などの質問にもユーモアを交え答えました。



第5回EU講座

榎野博史岡山大学病院院長（腎・免疫・内分泌代謝内科学）が2011年4月24日（日）、岡山市内のホテルで、EU会員20人を前に、自著「写真と童話で訪れるインスリンのふるさとデンマーク」に沿って、糖尿病にまつわるユニークな講演を行いました。同院長はこれまでもリュウマチ、高血圧などの患者向けに病気解説と自らの旅行記、写真を組み合わせた読本の刊行を続けています。この日、日本の糖尿病患者は740万人で徐々に増えていると警告。

その上で糖尿病の特効薬インスリンについて「酪農王国デンマークで1920年代、飼育していた豚や牛の膀胱から抽出し製品化した」「同国には現在、世界で使用されているインスリンの約半数を供給するノボノルディスク社がある」「私が医学部を卒業したころはまだ豚インスリンを使っていた。今はバイオテクノロジーを駆使して大量生産できるようになった」「糖尿病の最古の記録は今から3500年前、エジプトで”おしっこがたくさん出る病気”として記録が残っている」などこぼれ話を紹介。さらに早期発見、早期治療の重要性を分かりやすく解説するとともに「メタボは糖尿病の予備軍、適度な運動と野菜をしっかりとった食事に気をつけて」と注意を呼び掛けました。

また、オランダのライデン大学免疫・腎臓内科の教授に招かれ糖尿病性腎臓に関する講演を行ったのを機に、日蘭交流の観点からまとめた写真特集「オランダ物語」も紹介、参加者から好評でした。



EU フィルムデーズ2011

～初のEUフィルムデーズ開催、フィンランド、チェコなどの映画を楽しむ～

6月18、19の両日、岡山市北区の岡山県立美術館中ホールで初の「EUフィルムデーズ2011 in 岡山・高松」を開きました。フィンランド、オランダなど日

ごろ観賞の機会が少ない5カ国の映画5本が上映され映画ファンを魅了しました。

EUフィルムデーズは駐日欧州連合（EU）代表部、東京国立近代美術館フィルムセンターなどとの共催で、日本とEUの市民交流の促進を目的とした「日・EUフレンドシップウィーク」の一環として2003年から始まっています。EU諸国の多様な文化を、映画を通じて岡山県民に知ってもらうことは非常に意義あると考え岡山開催を要望していたところ今年2月、東京、京都、広島、山口、香川、そして岡山での開催が決まりました。

6月18日（土）の上映作品は、家族とは何かを問うツイステッド・ルーツ（フィンランド 日本語字幕）、中年映画監督を主人公にしたドゥスカ（オランダ 同）、19日（日）は青春映画ドライブ（チェコ 同）、シチリアを舞台にイタリア統一を目前にした一大叙事詩・副王家の一族（イタリア 同）、一途な恋物語・アンナと過ごした4日間（ポーランド 同）の合計5本。入場料は一般600円（前売り500円）、大学生・高校生400円、中学生以下無料、身体障害者および付き添い人1名無料としました。また、香川県では香川大学EU情報センター（香川大学図書館）が引き受け手となり岡山の1週間後6月25日（土）、26日（日）に開催したので香川EU協会、香川大学と共催の形をとりお互いにチラシの配布、入場券の販売協力を行いました。岡山会場の入場者は1映画35～59人で合計238人でした。



第6回EU講座 ～武田岡大名誉教授から大麦・ビールの話聴く～

第6回岡山EU講座が8月20日（土）、倉敷市の倉敷国際ホテルで開かれ、武田和義岡山大学名誉教授から大麦とビールをテーマに「大麦遺伝資源の可能性」と題する講演を聴きました。

会員約20人が参加。中島基善会長はあいさつで「倉敷中興の祖・大原孫三郎は本業以外に農業などにも熱心に取り組まれ倉敷は今、大麦の世界的な研究拠点になっている。東洋のビール王といわれた馬越恭平は井原市出身でもある。岡山は実にビールと関係が深い」などと語りました。

普通、ビールはできたてがおいしく時間の経過とともに徐々に劣化するが、武田名誉教授は保有する大麦の種を調べた結果、劣化酵素をもたない泡持ちがよくなる大麦を発見。2008年、カナダで新品種登録しその後、国内の大手ビール会社で実際にこの品種が使われるようになった、と研究成果を披露。「岡山で種を維持しながら品種改良を進め、世界のビールの品質向上に役立つことができれば非常にうれしい」と話しました。

大麦は9000年前にチグリス・ユーフラテス川沿いで栽培され始め、日本には3000年前に入ってきた。現在、世界には36万種あり、倉敷の研究センターには1万種の種がある。中には海水でも発芽する極強品種も保持しており、東日本大震災で冠水した仙台の水田で来年、栽培試験が行われるといいます。講義後、ベルギー、オランダ、スコットランドなど本場ビールを味わい、懇親を深めました。



事務局より

▽駐日欧州連合代表部（東京）による今年5回目の出張授業「EU が学校にやってくる」が5月10日（火）から岡山市東区の学芸館高校（写真）など5校で行われました。参事官などの授業を受けたのは昨年は3校でした。2校も増えたのは岡山EU協会の名前が県下に浸透しているからでしょうか。そう考えると少し楽しくなりますが…。



▽6月に初めて「EU フィルムデーズ2011 in 岡山・高松」を開きました。会場の手当て、映写技師の確保、チラシ・ポスター作り、プレイガイドにチケットを置かせてもらうお願い、瀬戸大橋を挟んだ高松との共催にしたことからお互いのチケットを持ち合ったり宣伝方法の確認など慣れないことばかり。骨折り損のくたびれ儲け（実質赤字決算）のところもありましたが「やはり映画は面白い!」。来年もチャレンジしたいと思いますのでまた、見に来てください。

▽6月の理事会・総会で、一昨年初めから岡山EU協会の設立準備に骨を折っていただいた越宗孝昌氏が任期満了に伴って会長を去り中島基善氏にバトンタッチしました。会の生みの親がこれで去ると思うとさびしい限りでしたが、中島新会長がアイデアを出し「名誉会長」ポストを用意。万事めでたしめでたし、でした。

▽2010年12月の第4回EU講座はゲストに岡山出身のオペラ歌手榎本和敬さんをお招きしましたが、その美しいテノールと楽しいトークはとても印象的でした。ただ、ホテルの一室だったので豊かな声量を思う存分発揮できたかどうか、それだけが気がかりでした。その榎木さんが9月24日（土）午後3時から岡山市のルネスホール（旧日銀ホール）でリサイタル（写真）を開くといひます。さて今度は歌うのに何の遠慮もいりません。



新規会員を募集しています

岡山EU協会会則（抜粋）

- （目的）岡山県とEU諸国との相互理解を深め、友好を促進し文化、経済の交流に寄与する
- （事業）地域交流会の開催、講演会、セミナーなど
- （会員）協会の目的に賛同する法人、個人
- （会費）法人は年額2万円、個人は同5,000円

岡山EU協会についてのお問い合わせ

事務局

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル5階
TEL: 086-222-0051
FAX: 086-222-3920
Eメール: info@okayama-eu.jp
URL: http://okayama-eu.jp
担当: 金森 大原 太田 宮田